



第10号 令和8年2月5日発行

「研究発表会を終えて」

校長 井上雅子

令和6、7年度東京都教育委員会人権尊重教育推進校の指定を受け、研究主題「自尊感情を高め主体的に考え行動する生徒の育成」を掲げ、全ての教育活動で「互いに認め合い支えあう関係づくり」に取り組んだ2年間の研究成果を1月15日に発表しました。当日の公開授業では、ひばりスタンダードによる話し合い活動での様子や、生徒会活動等で生徒が主体となって行ってきた課題解決の取組などを見ていただき、多くの先生方から、生徒の学習に対する主体性や互いに尊重しあう生徒同士の関係を見てることができて素晴らしいという声をいただきました。そして何より講師の玉川大学教職大学院の梅田比奈子教授には、「昨年も今年も全ての教室が‘まあるい’感じがする、間違えても大丈夫という安心感のある環境で学びが保証されている」とおっしゃっていただいたことは、研究の成果として大変嬉しく思いました。2年間の研究成果を生かし、これからも人権尊重の理念を第一にした学級経営と授業改善に全力で取り組み、生徒の自尊感情を高め、安心して学習に取り組み学力を伸ばしていくける学校づくりを実践していきます。



■2年生の校外学習 1月23日(金)

寒い北風の中でしたが、真っ青な空のもと、2年生が都内の校外学習を実施しました。ルールを守り、班で仲良く協力し合い、全班がほぼ時間通りに行動できた素晴らしい学習となりました。上野、浅草、スカイツリー、すみだ水族館、上野動物園など東京の歴史と新しさを体験できる場所に行きました。また、海外の旅行者への英語でのインタビューでは、声をかけるまではドキドキしましたが、海外の方々は皆、気持ちよく会話に応じてくださり、日本の良さや素晴らしさを話してください、嬉しく楽しい体験となりました。3年生への進級、最高学年への準備を感じさせる成長の1日でした。



■1年生スキー移動教室 2月1日(日)～2月3日(火) 菅平高原

1年生が三日間の移動教室に菅平へ出かけ、スキー実習を中心とした宿泊学習を実施しました。スキーが初めての生徒が多くいましたが、三日間でとても上達できました。行く前はスキーができるか不安な人も多かったのですが、思い切って勇気を出して挑戦し、できるようになった貴重な体験となりました。宿舎内では友達と部屋で楽しく過ごし、2日目のレクリエーションも学年みんなで楽しむことができました。実行委員会を中心に各係の役割をしっかりと果たし、実りある行事にできた体験はまさに、一人一人が「主体的に考え仲間と協力して行動する」ひばりが丘中学校のあるべき姿でした。発熱等で参加できなかった生徒の皆さんには大変残念でした。また途中で体調を崩した生徒のお迎えに来ていただいた保護者の皆様には、遠いところまで申し訳ありませんでした。



■生徒の活躍

○家庭科部 お弁当コンクール 全国大会で上位入賞 つくば未来万博記念財団理事長賞

(2-D) (2-C)

○吹奏楽部 第58回東京都中学校アンサンブルコンテスト 管楽8重奏 金賞

■学校評価アンケートのまとめ

第二回の学校評価アンケートを1月に実施いたしました。アンケート項目のうち生徒、保護者、教員の結果を比較できるものについてまとめました。（数字は「そう思う」「どちらかというとそう思う」を合わせたものです。また、令和7年度第一回（7月）→第二回（1月）となっています。

○生徒は学校に行くのが楽しい

【生徒】91%→90% 【保護者】93%→88%

○学校は工夫して生徒にとってわかりやすい授業を進めている

【生徒】教科、教員ごとに授業アンケートを実施。【保護者】66%→67% *「教職員は一人一人について昨年度から「わかる授業」ではなく、目標の提示、机間指導や指導内容や方法等の具体的な4項目の問い合わせています。」

○時間、挨拶、言葉遣いなど集団のルールやマナーを守り規則正しい学校生活を送っている *教職員については、「生徒に挨拶や言葉遣い等のルールやマナーの大切さを伝え、規範意識を高める指導を行っている」という質問

【生徒】94%→85% 【保護者】87%→89% 【教職員】100%→100%

○学校でいじめられたり、無視されたりすることなく安心して活動できる

【生徒】95%→97% 【保護者】76%→80% 【教職員】100%→100%

*教職員については、「生徒がいじめられたり無視されたりすることなく安心して活動できるように教員間で生徒情報の共有を積極的に行っている」という質問。

○学校は日頃から生徒からの相談に積極的に応じている。

【生徒】98%→95% 【保護者】68%→74%

○お互いが協力して、生徒会活動、委員会活動、学級の班や係活動に前向きに取り組んでいる

【生徒】98%→98% 【保護者】90%→90% 【教職員】98%→100% *教職員については「学校は生徒が学年学級への所属感や自己有用感をもてるよう学校行事や生徒会活動、部活動を充実させている」という質問。

○学校は進路や職業の学習により自分の将来や「夢の実現」に向けた取り組みや指導をしている

【生徒】86%→86% 【保護者】75%→80% 【教職員】98%→100%

○学校は、学校、学年だより、学校HPなどを充実させ学校の取組や生徒の様子を発信している

【生徒】96%→96% 【保護者】93%→97%

○タブレットを家庭学習でも活用している。【生徒】55%→56% 【保護者】44%→57%

○タブレットを利用のきまりを守って使用している。【生徒】96%→99% 【保護者】83%→80%

生徒アンケートのいくつかの項目で、第二回の数字が第一回より若干下がっていますが、ほとんどの項目で、おおむね肯定的な意見をいただいていることは評価できると考えます。しかし生徒の「学校へ行くのが楽しい」では、生徒は90%と高いが、保護者は93%から88%に下がったことについては、保護者の方の不安の気落ちに寄り添う必要があります。

また「学校はわかりやすい授業を進めるために工夫をしている」では、生徒の授業アンケートではどの授業も肯定意見が80%以上ですが、保護者は67%、また「学校は日頃から生徒からの相談に積極的に応じている」では、生徒の肯定意見は95%、保護者は74%と、1学期より伸びてはいますが、保護者の評価が低いのは大きな課題ととらえています。また「学校でいじめられたり、無視されたりすることなく安心して活動できる」という項目では、生徒の肯定意見は第二回が97%、保護者は80%と大きな差があります。今後も、日常の観察と聴き取りによるいじめやトラブルの早期発見、生徒への教育的な支援を全校をあげて行ってまいります。

さらにタブレットの使用については、家庭学習で活用できるような、生徒の負担が加重にならない課題等を行っていくなど、タブレットの活用をより良いものにしていかなければなりません。

詳しいデータは、スグールで配信いたしましたがホームページにも掲載しております。今後も引き続き学校ホームページを毎日更新し、保護者の皆さんには生徒や学校の様子を発信して参ります。